

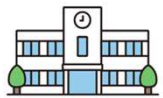
宮崎大学教職大学院 修了生を支援する「フォローアップ事業」

フォローアップ事業

教職大学院の教員が修了生の勤務校を訪問し、協働的に授業研究やキャリアやニーズに合わせたマネジメントに関する協議を行うことにより修了後の継続的な学びを支援する取組です。

あわせて、訪問の際に修了生や管理職にヒアリングを行い、その結果を踏まえて、教職大学院のカリキュラムの改善・充実を図っています。

授業力向上支援 (ストレート・現職教員の修了生)



学校訪問

訪問者: 大学教員(研究者・実務家)
大学院生、学部生、県派遣研修生

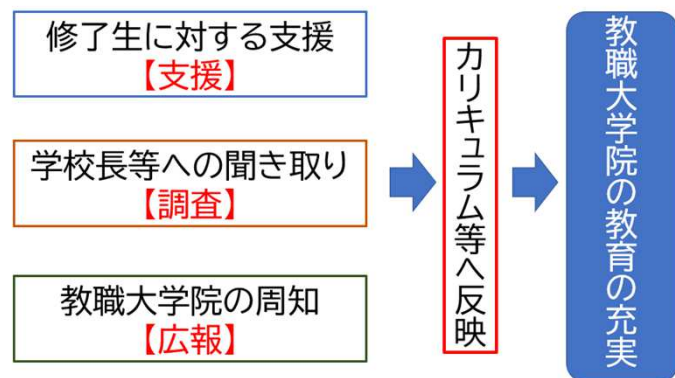


①研究授業参観等
授業内容: 授業者が選択



②事後研究会・協議

フォローアップ事業の3つの機能



学校マネジメント支援 (現職教員修了生)

教務主任、生徒指導主事、研究主任、学年主任などとして職務遂行に伴う悩み相談等

- ・先輩教師がたくさんいる中での教務主任の在り方はどうあればよいのか？
- ・研究主任として、効果的な研修を計画するには何が必要か？

「学部・大学院を通じて指導を受けた教員からもらう現在の実践についてコメントが、自分自身の教育活動を冷静に自己分析できるような視点となり、自分の良さや頑張りが実感できた。」(修了生)
「フォローアップ事業が現場での悩みをさらけ出せる場として活用できるとありがたい。」(修了生)
「このようなフォローアップ事業のシステムも学校としては大変有難く、また、他の教員に対してもよい刺激になり、教職大学院の効果的な広報啓発となっている。」(管理職)